

# コンパクトディスク チェンジャーシステム

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



本機は安全のための注意事項を守らないと、火災  
や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐため  
の重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、  
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。



## CDX-565MXRF



# 安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

### 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

### 定期的に点検する

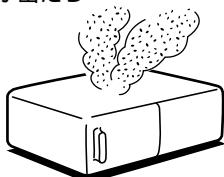
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

## 行為を指示する記号



指示

# 目次

準備

△警告・△注意 .....	4
---------------	---

## ▶準備

まず、本機をリセットする .....	6
リモコンを準備する .....	7
CDを入れる .....	8
送信周波数を設定する .....	10

ここだけ  
読みます

## ▶ここだけ読んでも使えます

CDを聞く .....	11
-------------	----

## ▶他の操作

出力レベルを設定する .....	17
重低音を強調する .....	18

その他の操作

## 付録

付録

使用上のご注意 .....	19
各部のなまえ .....	24
故障かな？ .....	27
保証書とアフターサービス .....	29
主な仕様 .....	30



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと火災・  
感電により死亡や大けがの  
原因となります。

---

## 24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止

24  
ボルト



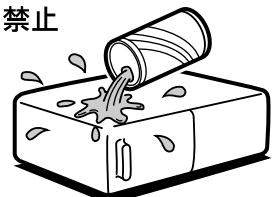
---

## 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



---

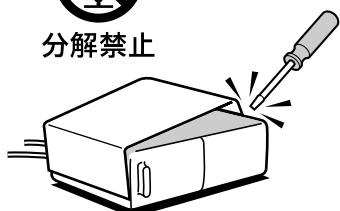
## 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



---

## 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示



下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に  
損害を与えたことがあります。

## エンジン内部に手を入れない

内部で手をはまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



## 電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。



- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の(+)と(-)を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子(金属部分)を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。



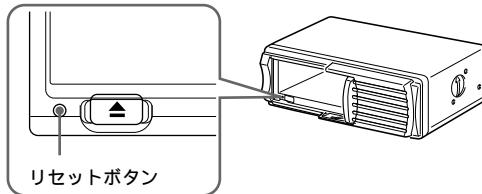
- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたたり、変形させない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

# はじめに

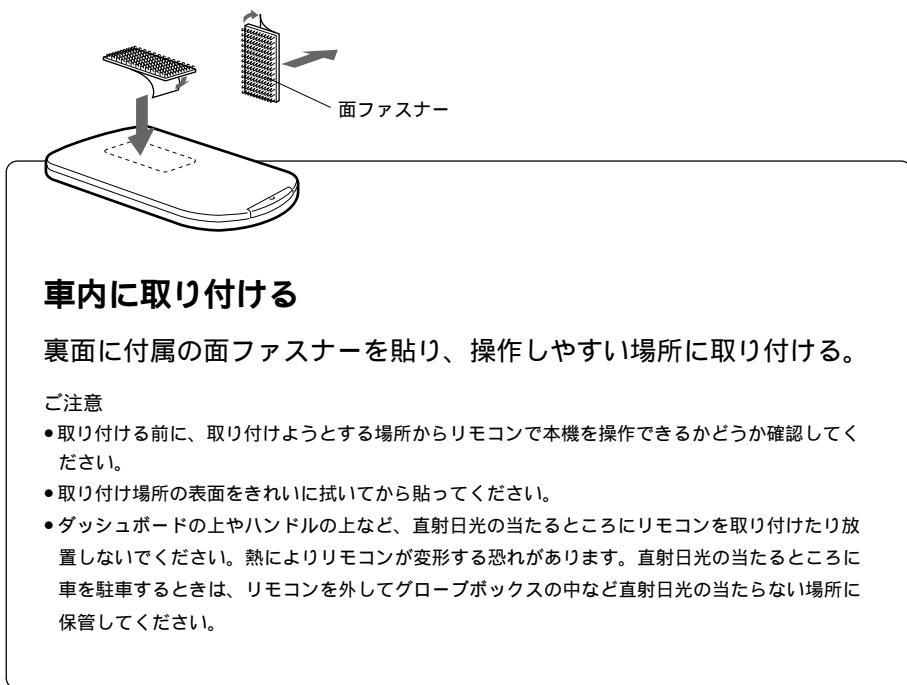
本機に接続したCDチェンジャーの音声をFM信号に変換して送信し、FMチューナーで受信して聞くことができます。

## まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、CDチェンジャーのリセットボタンをつま楊子の先などで押す。

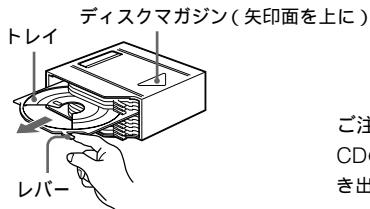


# リモコンを準備する



# CDを入れる

## 1 ディスクマガジンからトレイを1枚ずつ引き出す



ご注意

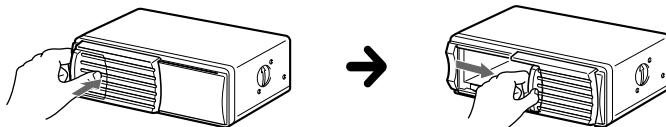
CDの落下防止のためにトレイは1枚ずつ引き出してください。

本機のディスクマガジンはXA-250/250Rをお使いください。XA-10B/XA-350はお使いになれません。

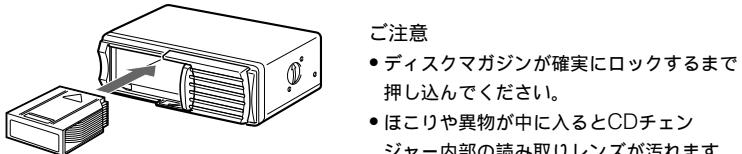
## 2 ディスクマガジンにCDを入れる



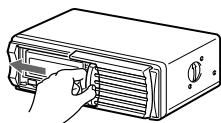
## 3 ドアを押し、ロックを外して矢印の方向に開く



## 4 ディスクマガジンをCDチェンジャーに入れる

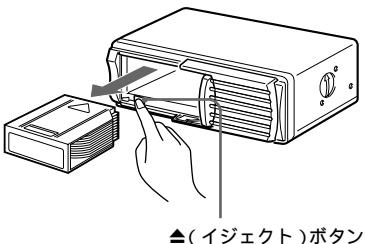


## 5 ドアを閉める

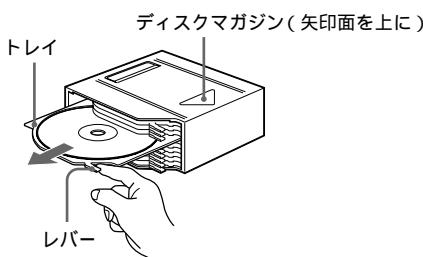


## CDを取り出す

### 1 CDチェンジャーからディスクマガジンを取り出す



### 2 ディスクマガジンからCDを取り出す



#### ご注意

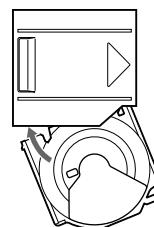
本機は8cmCDの再生はできません。8cmCDアダプターも故障の原因になりますので使用しないでください。

## トレイがディスクマガジンから外れてしまった場合

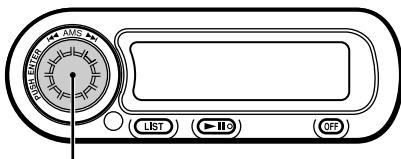
通常トレイはディスクマガジンから外れないようになっています。もし外れてしまった場合は、右図のようにトレイの切り込みのあるほうを自分のほうに向けて右端をディスクマガジンに差し込んでから、左端をカチッと音がするまで差し込んでください。

#### ご注意

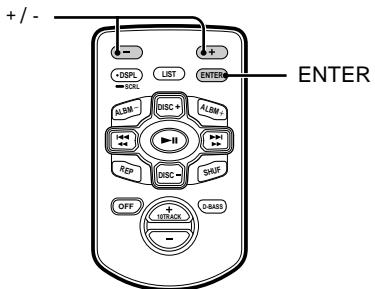
トレイは必ず表裏正しく差し込むようにしてください。



# 送信周波数を設定する



AMS/ENTER



本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している（本機からFMチューナーへ送信する）周波数と同じ周波数のFM放送があると、CD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。

ディスプレイで操作するには

- 1** AMS/ENTERダイヤルを周波数が表示されるまで2秒以上押す
- 2** AMS/ENTERダイヤルを回して、周波数を選ぶ

右へ回すたびに周波数は次のように切り換わります。

88.3 MHz → 88.5 MHz → 88.7 MHz → 88.9 MHz → 89.1 MHz  
→ 89.3 MHz → 89.5 MHz → 89.7 MHz → 89.9 MHz → 88.3 MHz

左へ回すと、逆順に表示されます。

- 3** 最後にAMS/ENTERダイヤルを2秒以上押す

リモコンで操作するには

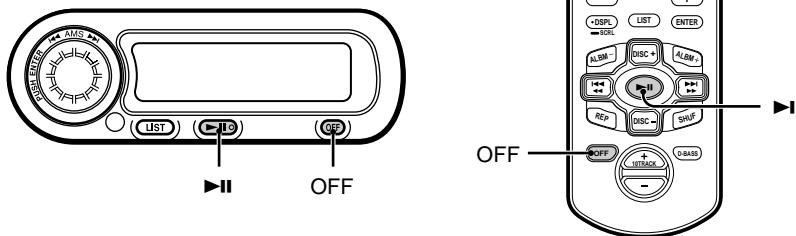
- 1** ENTERボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す
- 2** +または-ボタンを繰り返し押して、周波数を選ぶ
- 3** 最後にENTERボタンを2秒以上押す

## ご注意

- 本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録（プリセット）する周波数も変えてください。
- 停止状態（ディスプレイの表示が消えている状態）からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶▷ボタンを押してください。

# CDを聞く

使えるだけ  
読みで  
も



## 1 カーオーディオのFMチューナーを、本機で設定した周波数に合わせる

初期値は88.3MHzです。

## 2 ▶▷ボタンを押すと再生が始まる

再生中に押すと一時停止します。

### 止める/電源を切るには

OFFボタンを押します。

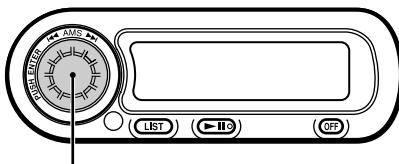
### 音量/音質について

カーオーディオ側で調節します。

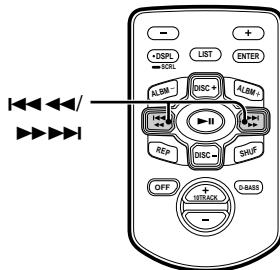
#### ご注意

- CD再生を止めるとスピーカーからザーという雑音がでます。カーオーディオの音量を下げてから再生を止めないようにしてください。
- ディスプレイの▶▷ボタンを押すと、自動的にCD再生がはじまります。
- 停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶▷ボタンを押してください。

# CDを聞く(つづき)



AMS/ENTER



## 曲の頭出しをする(自動選曲センサー(AMS))

ディスプレイで操作するには

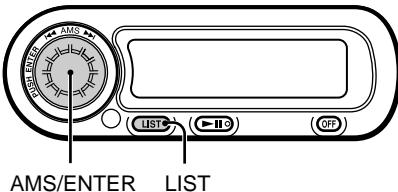
AMS/ENTERダイヤルを聞きたい曲番号が表示されるまで回す  
右へ回すと次の曲へ進み、左へ回すと前の曲に戻ります。

リモコンで操作するには

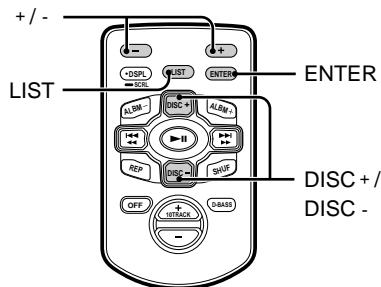
◀◀◀◀/▶▶▶▶ボタンを聞きたい曲番号が表示されるまで押す  
▶▶▶▶ボタンを押すと次の曲へ進み、◀◀◀◀ボタンを押すと前の曲に戻ります。

## 聞きたいところを探す(手動サーチ)

リモコンの◀◀◀◀/▶▶▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで離す



AMS/ENTER LIST



## 聞きたいディスクを選ぶ(リスト)

ディスプレイで操作するには

### 1 再生中にLISTボタンを押す

再生中のディスク名が点滅します。



MP3ファイルが記録されているディスクを選ぶと「MP3 DISC」と表示されます。

### 2 AMS/ENTERダイヤルを回して、ディスクを選ぶ

### 3 最後にAMS/ENTERダイヤルを押す

リモコンで操作するには

### 1 再生中にLISTボタンを押す

### 2 +または-ボタンを繰り返し押して、ディスクを選ぶ

### 3 最後にENTERボタンを押す

再生中にDISC+またはDISC-ボタンを押してディスクを選ぶこともできます。

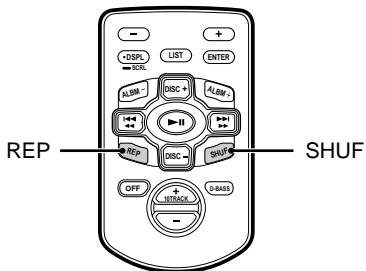
#### ご注意

- ・チェンジャーにディスクが入っていないときは「NO DISC」と表示します。
- ・ディスク名がついていないときは「NO NAME」と表示します。
- ・ディスクの文字情報を認識できないときは「NOT READ」と表示します。
- ・LISTボタンを押した後、5秒以上操作をしないと通常の表示に戻ります。
- ・「送信周波数を設定する」(10ページ)または「出力レベルを設定する」(17ページ)の操作中は、ディスクの選択はできません。

#### ちょっと一言

ディスクの選択をキャンセルするには、手順3の前までにLISTボタンを押します。

# CDを聞く(つづき)



## 繰り返し聞く(リピート再生)

再生中にREPボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ

- REP-TRACK (REP ) ..... 1曲のみ繰り返す。
- REP-ALBM (REP ) \* ..... 再生しているアルバムを繰り返す。
- REP-DISC (REP ) ..... 再生しているディスクを繰り返す。

\* MP3ファイル再生時のみ表示されます。



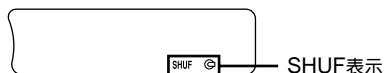
リピート再生をやめるには、REPボタンを押して「REP-OFF」を選びます。

## 曲順を変えて聞く(シャッフル再生)

再生中にSHUFボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ

- SHUF-ALBM (SHUF ) \* .... 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生する。
- SHUF-DISC (SHUF ) ..... 再生しているディスク内の全曲を順不同に再生する。
- SHUF-CHGR (SHUF ) ..... チェンジャー内の全ディスクの全曲を順不同に再生する。

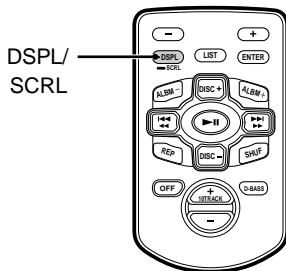
\* MP3ファイル再生時のみ表示されます。



シャッフル再生をやめるには、SHUFボタンを押して「SHUF-OFF」を選びます。

ちょっと一言

「SHUF-CHGR」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。



## 表示窓の見かた

再生中にDSPL/SCRLボタンを繰り返し押して、表示を切り換える



ディスク/アルバム\*<sup>1</sup>番号、曲番号と再生経過時間



ディスク/アルバム\*<sup>1</sup>番号とディスク名\*<sup>2</sup>/アーティスト名\*<sup>3</sup>



ディスク/アルバム\*<sup>1</sup>番号とアルバム名\*<sup>1</sup>



ディスク/アルバム\*<sup>1</sup>番号と曲名\*<sup>1</sup>\*<sup>2</sup>



ディスク/アルバム\*<sup>1</sup>番号とID3タグ\*<sup>1</sup>

\*<sup>1</sup> MP3ファイル再生時のみ表示します。

ID3タグがついているMP3再生時は、ID3タグの曲名/アーティスト名/アルバム名を表示します。ID3タグがついていないときは、「NO ID3」と一瞬表示され、曲番号と再生経過時間の表示になります。

\*<sup>2</sup> ディスク名、曲名がついていないときは、「NO NAME」と一瞬表示され、曲番号と再生経過時間の表示になります。

\*<sup>3</sup> アーティスト名が記録されているCD TEXT再生時のみ表示します。

[次のページへ](#)

# CDを聞く(つづき)

## 長い名前(8文字以上)を見るには

再生中にDSPL/SCRLボタンを2秒以上押します。

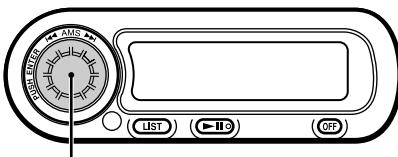
### ちょっと一言

ディスクや曲に8文字以上の名前がついているときは、ディスクや曲が変わると、表示が自動的にスクロールします。

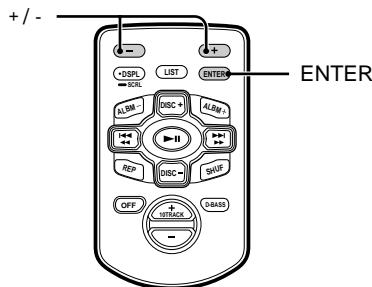
### ご注意

- ディスク名、アーティスト名、曲名は8文字まで表示します。
- CD TEXTに記録されている曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- ID3タグはver.1にのみ対応しています。
- 本機で表示できない文字や記号は「\*」で表示します。
- CD TEXTまたはID3タグで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったり、スクロールしないことがあります。
- MP3再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。
  - VBR(Variable Bit Rate : 可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
  - 早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

# 出力レベルを設定する



AMS/ENTER



その他の操作

カーオーディオのFMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベル(LEVEL 1 ~5)を設定できます。

ふつうは初期値(LEVEL 3)で使用しますが、必要に応じて切り換えてください。

ディスプレイで操作するには

- 1** AMS/ENTERダイヤルを2秒以上押す
- 2** もう一度AMS/ENTERダイヤルを短く押す

LEVEL 3  
初期値

- 3** AMS/ENTERダイヤルを回して、出力レベルを選ぶ

左へ回すとレベルが低くなり、右へ回すとレベルが高くなります。

- 4** 最後にAMS/ENTERダイヤルを2秒以上押す

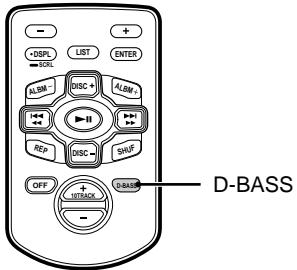
リモコンで操作するには

- 1** ENTERボタンを2秒以上押す。
- 2** もう一度ENTERボタンを短く押す。
- 3** +または-ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。
- 4** 最後にENTERボタンを2秒以上押す。

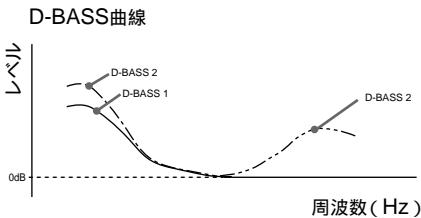
ご注意

出力レベルを4または5に設定した場合、お聞きになるCDによっては音が歪んだり雑音が発生したりすることがあります。その場合は、本機の出力レベルを下げた後、カーオーディオの音量を上げて行き、お好みの音量でお聞きください。

# 重低音を強調する



D-BASS(ダイナミックベース)機能は、低音域と高音域をシャープに増幅するため、同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



## D-BASSボタンで低音を調整する

D-BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定に切り換える

ボタンを押すごとに表示が

D-BASS 1 → D-BASS 2 → 消灯

と切り換わります。

数字が大きいほど低音が強調されます。

通常に戻すときは、D-BASSボタンを押して「D-BASS OFF」を選びます。

### ご注意

- 出力レベルを4、5に設定しD-BASSをお使いになった場合、D-BASS OFF時に比べて音量が小さくなりますが、歪みを抑えるためで、故障ではありません。カーオーディオ側で音量を調整してお使いください。
- D-BASS 2に設定したとき、お聞きになるCDによっては歪みが発生することがあります。その場合はD-BASS 1にするか、出力レベルを下げてお使いください。

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱い

### ディスプレイの表面を傷めないために

ディスプレイ表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかってたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

### 結露について

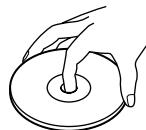
寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですると、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はサービス窓口にお申しつけください。

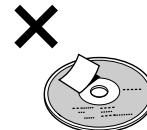
## ディスクの取り扱い

### ディスクについて

- ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

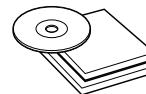


記録面に触れない  
ように持つ。



ディスクに紙など  
を貼らない。  
キズを付けない。

- ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。



- 再生する前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることができますので、使用しないでください。

次のページへつづく

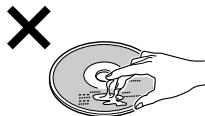
付  
録

# 使用上のご注意(つづき)

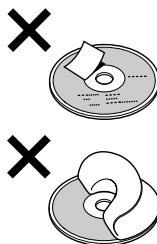
## こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



## ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取りだせなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまう為、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音飛びがするなど)
- このようなディスクがさらにディスクマガジン内の他のディスクを傷つけることがあります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

## CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された下表にあるCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

オーディオCD		
MP3ファイル		

## MP3形式ファイルについて

MP3(MPEG1 Audio Layer3の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

## ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R(レコードブル)、CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

本機ではマルチセッション対応で記録したディスクもご使用になります。

## ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

**レベル1：** ファイル名は8.3形式(名前は半角英文大文字と半角数字、“\_”で8文字以下、拡張子は3文字)  
フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

**レベル2：** ファイル名は最大半角31文字(区切り文字、“.”と拡張子を含む)、フォルダーは名前が半角31文字以下で、階層は8つ以下。

## 拡張フォーマット

Joliet： ファイル名、フォルダー名は最大で半角64文字。

Romeo： ファイル名、フォルダー名は最大で半角128文字。

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。

従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。

マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

CD-Extra： セッション1の各トラックに音声(オーディオCDデータ)を、セッション2のトラックにデータを記録するフォーマット。

Mixed CD： 1つのセッション内のトラック1にデータを、トラック2以降に音声(オーディオCDデータ)を記録するフォーマット。

## ご注意

- ディスクにMP3形式ファイルと音声データが混在しているときは、最初に識別した方を再生します。
- ファイル名、フォルダ名はISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前を付けるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- CDマガジン内のすべてのCD情報を読み終える前にMP3ディスクを再生した場合、イグニッシュョンキーをOFFにしたり、別のソースに切り換えると、次にディスクを再生するときに曲の最初に戻ることがあります。

次のページへつづく

# 使用上のご注意(つづき)

- MP3ファイル再生時は、はじめにディスク内の情報(フォルダー、ファイルの数やデータの位置)を読み取ります。ファイル構造が複雑なディスクは音楽ファイルが再生されるまでに時間がかかることがあります。
- CDマガジンを入れたときや、本機をリセットしたときは、自動的に動作してCDの情報を読み取ります。CDマガジン内のすべてのCD情報を読み取ると、自動的に停止します。ディスクの記録方法によってはイグニッションキーをOFFにしても、CD情報の読み取りが終わるまでは数分から數十分動作している場合がありますが故障ではありません。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
  - 多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
  - マルチセッションで記録したディスク
  - 記録の追加が可能なディスク
- 高ビットレート(320kbpsなど)で記録されたMP3ファイルは、再生時に音がとぶことがあります。
- ディスクの状態によっては再生できないものもあります。詳しくは「ディスクの取り扱い」をご覧ください。
- 1枚のディスクに含まれるフォルダーは255個\*まで再生可能です。(ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーも含みます。)
- 1枚のディスクに含まれるファイルは511個\*まで再生可能です。  
\* フォルダー数とファイル数の合計は最大512個までです。ファイル名、フォルダーナーの文字数が多い場合は、512個以下になることがあります。

## マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：  
オーディオCDデータのみ再生し、その他のデータは無音で再生します。(MP3ファイルは再生されません。)
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
  - ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
  - ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO Music」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

## 再生時間表示についてのご注意

MP3再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。

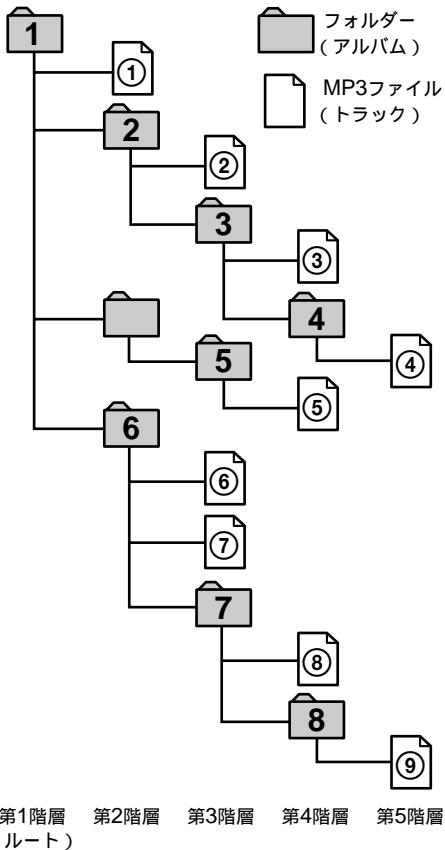
- VBR(Variable Bit Rate : 可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
- 早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

## ちょっと一言

フォルダーナー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生する順番を指定できる場合があります(ライティングソフトによる)。

## MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



### ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視されます。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。2つ以下の階層のディスクをおすすめします。
- 1枚のディスクに含まれるフォルダーは255個\*までです。
- 1枚のディスクに含まれるファイルは511個\*までです。  
\* フォルダー数とファイル数の合計は最大512個までです。
- 各フォルダーの階層は8つ以下です。

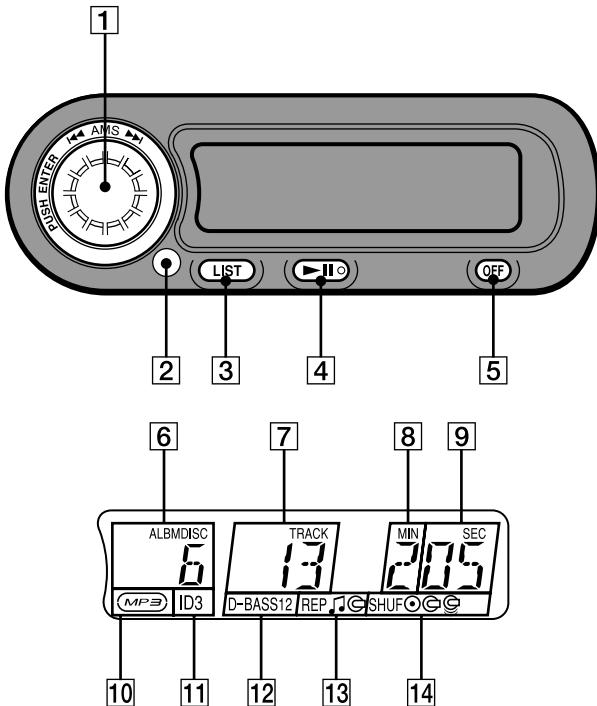
### ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダー名・ファイル名のはじめに数字(01, 02など)をつけることで再生順序を指定することができます。

# 各部のなまえ

## ディスプレイ (RM-X83RF)

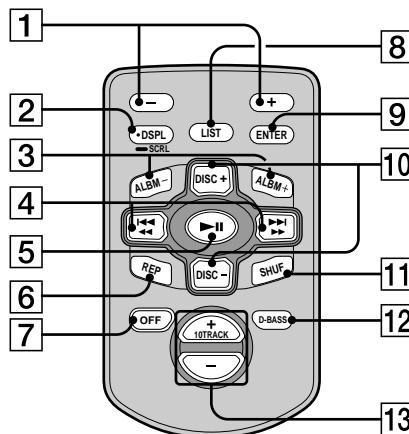
内のページにくわしい説明があります。



- ① エーエムエス/エンター  
② リモコン受光部  
③ LISTボタン ⑯  
④ ▶II(CD再生/一時停止)ボタン ⑩ ⑪  
ボタンに凸点(突起)がついています。操作の  
目印としてお使いください。  
⑤ OFFボタン ⑫

- ⑥ アルバム/ディスク  
表示  
⑦ TRACK(曲番号)表示  
ミニット  
⑧ MIN(分)表示  
セコンド  
⑨ SEC(秒)表示  
エムビースリー  
⑩ MP3(MP3ファイル再生)表示  
アイディースリー  
⑪ ID3(ID3タグ)表示  
ディーベース  
⑫ D-BASS(低音強調)表示  
リピート  
⑬ REP(リピート再生)表示  
シャッフル  
⑭ SHUF(シャッフル再生)表示

## リモコン(RM-X84RF)



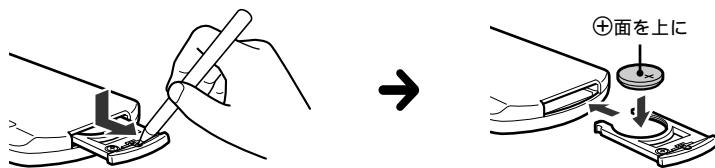
付  
録

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| [1] -/+ ボタン ⑩ ⑪ ⑫                | リスト<br>エンター  |
| ディスプレイ/スクロール                     |  |
| [2] DSPL/SCRL(表示切換/スクロール)ボタン ⑯ ⑰ | ⑨ ENTER(決定)ボタン ⑩ ⑪ ⑫   |
| アルバム                             | ディスク   |
| [3] ALBM -/+ (アルバム切り換え)ボタン       | ⑩ DISC + / - (ディスク切り換え)ボタン ⑬   |
| 聞きたいアルバムを選ぶときに押します。              |  |
| [4] ▶◀◀◀/▶▶▶▶(頭出し/早送り・早戻し)ボタン ⑫  | ⑪ SHUF(シャッフル再生)ボタン ⑭   |
| シーディー                            | ディーベース   |
| [5] ▶II(CD再生/一時停止)ボタン ⑪          | ⑫ D-BASS(低音強調)ボタン ⑮  |
| リピート                             | トラック   |
| [6] REP(リピート再生)ボタン ⑯             | ⑬ 10 TRACK +/- ボタン   |
| オフ                               | 再生中に押すと、10曲先または10曲前のトラックにスキップします。<br>ディスクの前後に10曲分のトラックがない場合は、ディスクの始めまたは終わりに戻って10曲分スキップします。 |
| [7] OFFボタン ⑪                     | アルバム内の曲を再生している場合<br>アルバム内の前後に10曲分のトラックがなければ、次または前のアルバムへ移動して再生を始めます。                        |

[次のページへつづく](#)

## 各部のなまえ(つづき)

### ボタン型リチウム電池を入れる



ボタン型リチウム電池CR2025を、<sup>+</sup>面を上にして正しく入れる。

ボタン型リチウム電池は、ふつうの使いかたで約6か月もちます。

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>内蔵のマイコンが誤動作している。 → CDチェンジャーの▲(イJECT)ボタン横のリセットボタンを押す。</li><li>接続コード類がしっかり差し込まれていない。</li><li>ディスクマガジンがロックされていない。 → ▲(イJECT)ボタンを押してディスクマガジンを取り出し、確実にロックされるまで押し込む。</li></ul>
音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDチェンジャーが不安定な場所に取り付けてある。 → 頑丈な場所に取り付け直す。</li><li>ディスクがひどく汚れている。→ ディスクをクリーニングする。</li><li>ディスクにキズがついている。→ ディスクを交換する。</li></ul>

付録

## CDのエラー表示

CDチェンジャーが誤作動すると、エラー表示が約5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
NO MAG	ディスクマガジンがCDチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NO DISC	CDチェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
ERROR	ディスクが裏返しになっている。 ディスクが汚れている。	ディスクを正しく入れ直す。 ディスクをクリーニングする。
RESET	何らかの原因でCDチェンジャーが動作しない。	CDチェンジャーの▲(イJECT)ボタン横のリセットボタンを押す。
NG DISCS	CDチェンジャー内のディスクが何らかの原因で再生できない。	ほかのディスクに入れ換える。

# 故障かな?(つづき)

## ID3 tag ver. 2について

ID3 tag ver.2 が入っている曲を再生した場合、下記の現象が起こりますが、故障ではありません。

- ID3 tag ver.2 部分(曲頭)を読み飛ばす時は無音になります。無音時間はID3 tag ver.2の容量によって異なります。

例: 64byteで約2秒(RealJukebox使用時)

- ID3 tag ver.2部分を読み飛ばすときの時間表示は不正確になります。

また、128kbps以外のピットレートの曲の場合も、再生時の時間表示が不正確になります。

- ID3 tag ver.2 はMP3変換ソフトによってMP3ファイルを作成した場合、自動的に入る場合があります。(例: RealJukebox\*)

\* RealJukeboxはリアルネットワークス社の登録商標です。

2001年12月現在。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間にについて

当社ではカーオーディオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

付  
録

# 主な仕様

CDチェンジャー(CDX-565MXRF)		その他
型式	コンパクトディスクデジタル オーディオシステム	電源
ワウフラッター	測定限界以下	付属品
出力端子	ディスプレイコントロール出力 端子	
消費電流	FM出力端子 900 mA(ディスク再生時) 900 mA(ディスクローディングまたはイージェクト時)	別売品
使用温度範囲	-10°C ~ +55°C	
寸法	約262×90×185 mm (幅/高さ/奥行き)	
質量	約2.1 Kg	
使用周波数	88.3 MHz/88.5 MHz/ 88.7 MHz/88.9 MHz/ 89.1 MHz/89.3 MHz/ 89.5 MHz/89.7 MHz/ 89.9 MHz (切り替え式)	ディスクマガジン XA-250 XA-250R
リレーボックス		本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります、ご了承ください。
寸法	40×40×27 mm	
質量	140 g	
ディスプレイ(RM-X83RF)		
寸法	約127.5×41.5×24 mm (幅/高さ/奥行き)	
質量	約280 g	
リモコン(RM-X84RF)		
寸法	約52×8.5×90 mm (幅/高さ/奥行き)	
質量	約30 g	
電池	ボタン型リチウム電池 (CR2025)	



## 商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。  
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

### お客様ご相談センター

● ナビダイヤル\* .....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は\* ..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX ..... 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

\*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。

はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。  
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1 : 修理受付
- 2 : 使用方法や故障と思われるご相談
- 3 : お買物相談
- 4 : 業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5 : その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in Thailand